

# 経営学の窓から

「地域を拓く未来企業に関する研究」

補足資料

1

四日市大学 総合政策学部  
川崎綾子

# 研究者の仕事

---

何かと何かを

1. まとめる
2. バラバラにする

# 何かと何かを まとめる / バラバラにする

何か：人，現象，理論など



# 本日のお話の切り口① 同族企業／非同族企業

- ファミリービジネス論

企業の同族所有・経営に注目した議論

## ◆ 同族企業

「創業家が大口の株主で、その創業家一族から経営陣に人が送られている企業」

と定義される（入山，2015，p.131）

同族企業 vs. 非同族企業

業績が高いのは？

※多くの実証研究の結果（米など）

# 日本の同族企業の中で 特に業績が良いのは？

経営者が（ 婿養子 ）の場合

※アルバータ大学（カナダ）と京都産業大の研究者らの研究結果

Mehrotra et al. (2013)

なぜ業績が良いのか

- 創業者とファミリー：大胆な戦略を打っても解任リスクが小さい（入山，2015）

⇔ 生え抜き社長

- 創業家とは異なる性質

→ 創業家とは少しだけ距離がある

# 本日の話の切り口②

## 一旦、はなれる

→ 新しさの創出



一旦、退職

多様な  
経験

# 成功の鍵：はなれる

田村氏：父の保険代理店経営の継承前に...

東京で親元離れて生活→調理師学校→フリーター

小串氏：転職した広告代理店の経験から  
事業化

浜中氏：家業の承継→退任

仕事の世界から一旦離れて...

介護経験

→ 訪問看護・在宅介護のビジネス

# 参考資料

入山章栄（2015）．「世界標準の経営理論：人が合理的だからこそ，組織の問題は起きる」『DIAMOND ハーバード・ビジネス・レビュー』 April, 122-134.

Vikas Mehrotra, Randall Morck, Jungwook Shim, & Yupana Wiwattanakantang (2013).

Adoptive expectations: Rising sons in Japanese family firms. *Journal of Financial Economics*, 108(3), 840-854.